

# 塩竈市地区別復興構想（素案）

（注） 短期的な取り組み  
長期的な取り組み

## 塩竈市震災復興計画の基本理念

長い間住みなれた土地で、  
安心した生活を  
いつまでも送れるように

そのために...

- (1)生活基盤の再生、多様な担い手の連携による地域社会の構築
- (2)安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりの推進
- (3)基幹産業の再生・復興、地域経済の活性化

## 基本的な考え方

### (1)復興計画期間

概ね10年間(早期に復興を図るものについては前期5か年、長期間にわたって復興に取り組む必要があるものについてはさらに後期5か年をかけて取り組む)

### (2)復旧にとどまらず復興へ

### (3)生活再建を最優先する復興

## 被災状況

全壊：92戸 大規模半壊：84戸  
半壊：21戸 合計：197戸  
世帯数(6月末)：216世帯  
2月末より46世帯減少  
全壊率35%、半壊以上の被災率75%  
半壊・全半壊には店舗等の非住家が一部含まれており、各地区とも参考数値です。

ふ頭上屋、倉庫及び飼料会社等の港湾関連施設も甚大な被害を受け、建物の解体撤去が進められてきている。

## 復興の課題

今回同様の防潮堤(2.7m)を1m超す津波対策として、防潮堤の強化に加え、道路の盛土・嵩上げによる多重防御や安全な避難場所、経路の確保等、防災対策の強化が必要。  
地震・津波で地区全体が地盤沈下(最大1m程度)し、海拔0m以下も発生。今後、高潮の影響が懸念されるため、住宅再建に際して、地区全体の嵩上げ等、面的整備による解決が必要。  
港湾施設の全施設が40~90cm程度沈下し、エプロンの陥没や舗装の損傷、段差等の被害が生じており、災害復旧事業により防潮堤の嵩上げ等の早期復旧が必要。

## 復興の考え方

防潮堤の強化、防潮堤機能を有した港湾道路や緑道の嵩上げ整備により、多重防御によって、津波から市街地を水際で防御する。港湾施設とあわせ、周辺道路の冠水解消等、居住性・防災性を向上させる居住環境の早期復旧を図る。  
海側の商業・港湾関連施設等、土地利用を純化・集約化によって、駅からマリゲート塩釜周辺での賑わい拠点性の強化とあわせ、堅牢施設による有事の一時避難機能や津波被害の軽減を図る。  
復興のシンボルとして、マリゲート塩釜のリニューアルや再築復旧の上屋活用等を含め、仙台圏唯一の駅隣接ベイエリアを再開発する。

## まちづくりのイメージ(案)

頻度の高い津波から生命、財産を守るため防潮堤の早期復旧整備を促進する。  
岸壁等の災害復旧とあわせ、防災機能を強化するとともに、マリゲート塩釜を復旧・整備する。  
隣接の再築復旧する上屋の活用とあわせ、地域の拠点性の向上を図る。  
道路や周辺地区の嵩上げ等、面的整備を推進する。  
海側に、商業・港湾関連施設等、土地利用を純化・集約化を促進する。  
駅からマリゲート塩釜の拠点性強化とあわせ、有事の一時避難機能の強化に努める。

港町地区

全壊：126戸 大規模半壊：271戸  
半壊：42戸 合計：439戸  
世帯数((6月末)：677世帯  
2月末より41世帯減少  
全壊率18%、半壊以上の被災率61%

海側エリアは、水産加工業の立地が多く甚大な被害を受け、流离家屋も生じるなど、低層住宅のほとんどが全壊となった。

今回同様の防潮堤(2.7m)を1m超す津波対策として、防災・防潮機能の強化を図った、北浜緑地護岸の早期整備が必要。  
狭あい道路の解消とあわせ、避難・防災機能を向上させる居住環境の復旧が必要。  
海側エリアでは、水産加工業の再建とあわせ、定住促進の観点から、防災安全性を確保しつつ、南向き海辺の立地性を活かした、新たな居住空間活用も期待されている。  
地震・津波の地盤沈下によって、道路冠水等が頻発する地区も生じており、道路の嵩上げ等、早期復旧が必要。  
臨港地区との調整を図りつつ、地区整備を進める必要がある。

防災・防潮機能の強化とあわせ、景観形成を考慮した北浜緑地護岸整備を推進する。道路冠水や狭あい道路の解消とあわせ、避難・防災機能を向上させ、良好な居住環境を整備する。  
背後地の盛土嵩上げや緩衝帯として公園緑地の拡充、防災機能を備えた避難ビルや遊歩道等、防災・安全性の向上を図る。  
住工混在を解消しつつ、職住近接型の良好な居住環境を整備する。  
復興のシンボルとして、中心市街地内の南向き海辺のロケーションを活かした、新たな居住空間形成を促進する。

頻度の高い津波から生命、財産を守るため防潮堤の早期復旧整備を促進する。  
防潮機能の強化とあわせ、避難路を兼ねた遊歩道等、防災・安全性を高めた整備を促進する。  
背後地の盛土嵩上げ、緩衝帯等の充実を図る。  
道路冠水の解消とあわせ、避難・防災機能を向上させ、良好な居住環境の整備を促進する。  
建物の解体・撤去によって、中心市街地にまとまった土地が生じており、避難機能を備えたビル等の土地の高度利用を促進する。

北浜地区

全壊：27戸 大規模半壊：137戸  
半壊：2戸 合計：166戸  
全壊率18%

店舗等の非住家に甚大な被害を受けており、これまで空き店舗となっていた建物も解体撤去が進められてきている。  
また、地区内にある市営駐車場も被災している。

今回同様の防潮堤(2.7m)を1m超す津波対策として、防潮堤の強化に加え、道路の盛土・嵩上げによる多重防御や安全な避難場所、経路の確保等、防災対策の強化が必要。  
津波により中心市街地全体が浸水被害を受けており、有事の際の一時避難場所、防災センターや避難路等の機能・確保が必要。  
特に、過去に再開発等が頓挫した海岸通地区周辺等は、密集市街地の環境改善が必要であり、市営駐車場の建替えを含め、複合的な再開発の促進による拠点機能の集積が必要。

防災・防潮機能の強化とあわせ、港湾道路の嵩上げや景観形成を考慮した北浜緑地護岸整備を推進し、多重防御によって、津波から市街地を水際で防御する。  
駅周辺において、避難施設、避難所等への誘導、避難・防災機能を有した回遊性ある歩行空間を整備する。  
国道45号嵩上げとあわせ、密集市街地の環境改善のため、海岸通地区周辺一体で複合的な市街地再開発を促進し、住居・商業及び公共施設等機能の複合化・集約化を図る。  
災害復旧を契機に大胆なまちづくりを行い、防災センター等の機能を備えたコンパクトで賑わいのある拠点機能の形成を促進する。

国道45号嵩上げとあわせ、避難・防災機能を向上させ海岸通地区周辺の再開発を促進する。  
住居・商業及び市役所機能等の複合化・集約化を図り、防災センター等の機能を備えた拠点機能の形成を促進する。

本塩釜駅前周辺地区(海岸通地区)

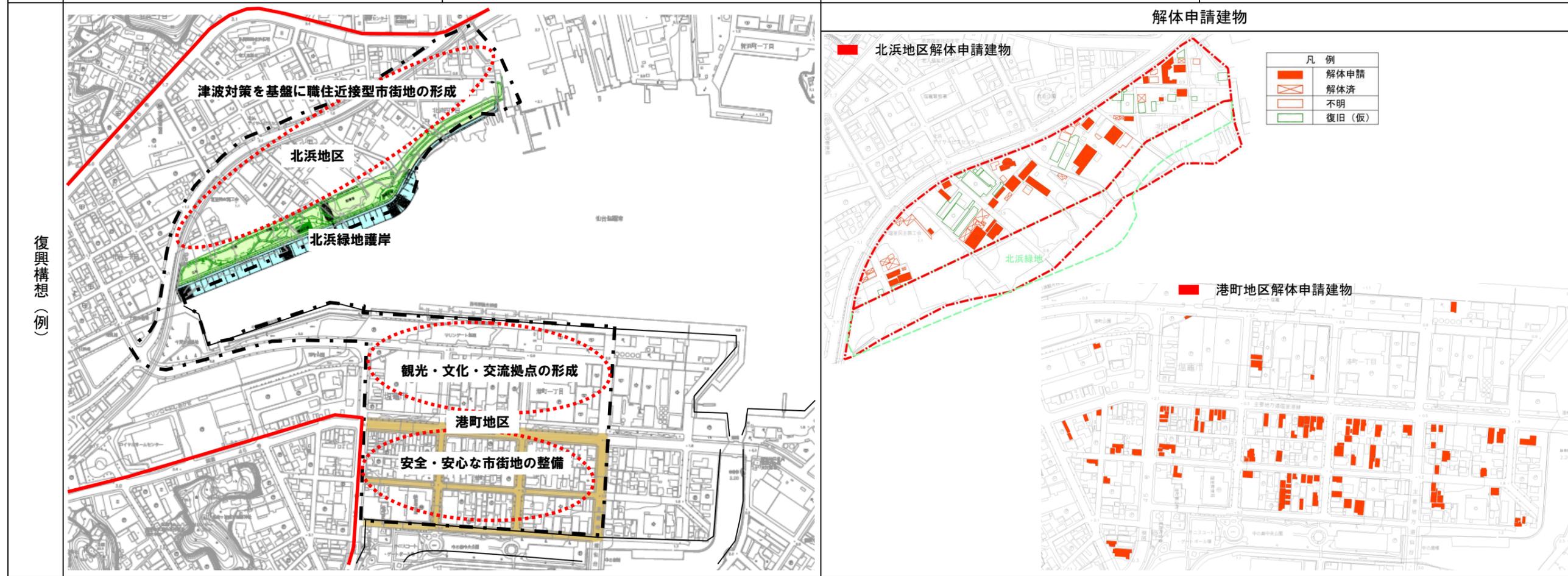
# 塩竈市地区別復興構想（素案）

（注） 短期的な取り組み  
長期的な取り組み

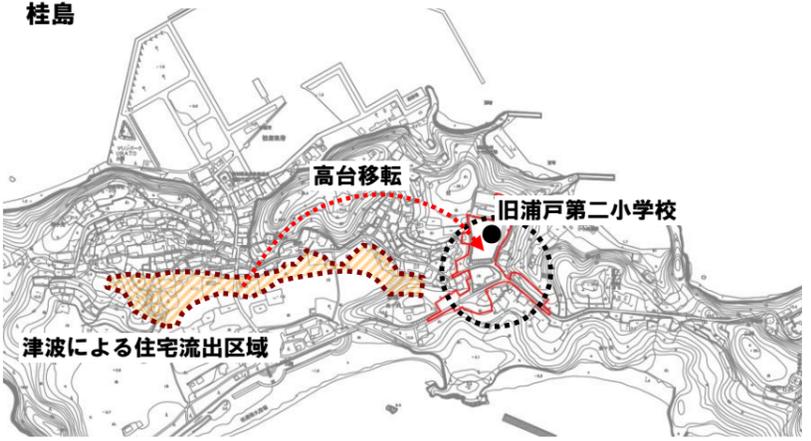
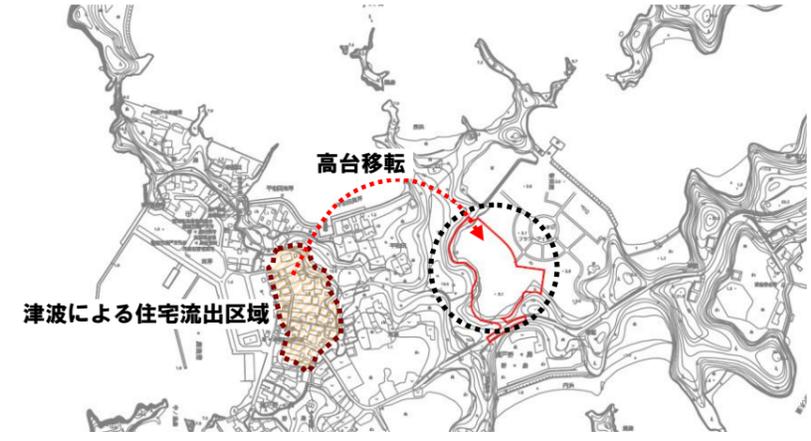
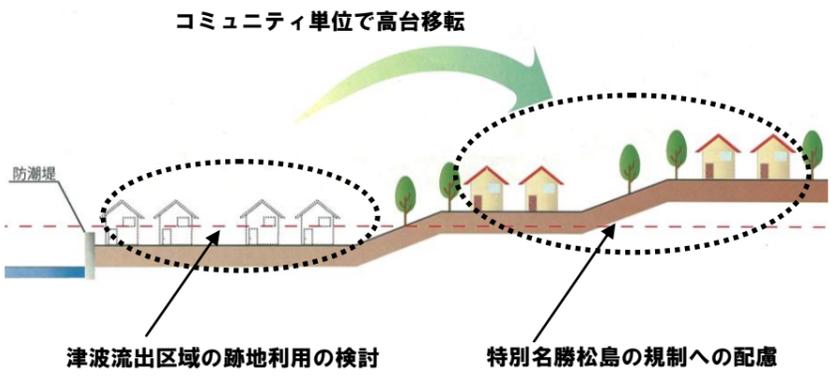
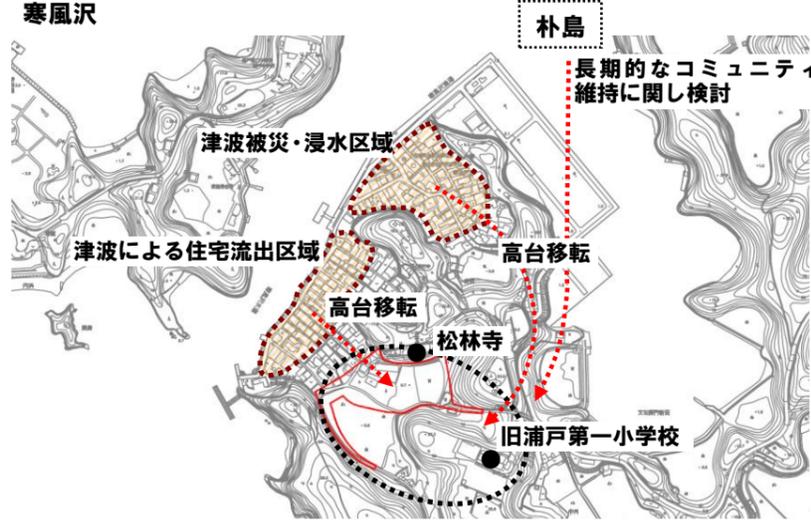
	被災状況	復興の課題	復興の考え方	まちづくりのイメージ（案）
藤倉地区	<p>全壊：50戸 大規模半壊：219戸 半壊：149戸 合計：418戸 全壊率4%、半壊以上の被災率30%</p> <p>地震・津波の浸水により多くの住宅等が被災し、建物の解体・修繕等が進んでいる。</p>	<p>今回同様の防潮堤（2.7m）を1m超す津波対策として、防災・防潮機能の強化を図った、北浜緑地護岸の早期整備が必要。狭あい道路や密集市街地の環境改善が求められており、避難・防災機能を向上させる居住環境の復旧が必要。</p> <p>地震・津波の地盤沈下（道路が10～50cm程沈下）によって、雨水排水の影響が心配される場所も生じており、道路の高上げ等、早期復旧が必要。</p>	<p>防災・防潮機能の強化とあわせ、景観形成を考慮した北浜緑地護岸整備を推進する。道路冠水や狭隘道路の解消とあわせ、避難・防災機能を向上させ、良好な居住環境を整備する。</p>	<p>道路冠水や狭隘道路の解消とあわせ、避難・防災機能を向上させ、良好な居住環境を整備する。</p>
新浜地区	<p>全壊：11戸 大規模半壊：53戸 半壊：47戸 合計：111戸 全壊率2%、半壊以上の被災率19%</p> <p>津波被害は比較的少なかったものの、岸壁や漁港道路等の漁港施設は、地震により甚大な被害を受け、これまで深刻な地盤沈下等で放置されていた工場等も、解体撤去が進められてきている。</p>	<p>今回、津波被害は少なかったものの、防災・防潮機能の対策、強化が必要。地震により、魚市場を含め、岸壁・道路等の漁港関連施設が甚大な被害を受けており、早期復旧が必要。</p> <p>岸壁の災害復旧とあわせ、老朽化が著しい魚市場上屋の全面改築等、施設の抜本的な復旧改良が必要。</p>	<p>津波被害のない、より安全な団地で、安定した生産活動を送れるようにする。漁港施設の早期復旧とあわせ、魚市場の高度利用化の促進を含めた再整備を図る。</p>	<p>頻度の高い津波から生命、財産を守るため防潮堤の整備を促進する。岸壁の災害復旧とあわせ、市場を再整備する。</p> <p>工場の解体撤去等によって未利用地が生じており企業誘致を進める。避難ビル機能や避難路等、防災機能を向上させる。</p>
その他の地区	<p>上記以外の津波による被害が少なかった本土のその他の地区でも、地震による大きな被害を受けている。</p> <p>全壊：70戸 大規模半壊：115戸 半壊：527戸 合計：712戸</p>	<p>地震により、道路、家屋、擁壁、ブロック塀等が被害を受けており、道路の復旧、家屋の再築、擁壁の復旧、ブロック塀の撤去等の早期復旧と防災機能の強化が必要。</p>	<p>被災した道路の復旧とあわせ、避難・防災機能を向上させ、良好な居住環境を整備する。</p> <p>家屋の耐震性を強化するとともに、避難所、避難路等を整備し、防災性の向上をはかる</p>	<p>道路の早期復旧を図り、避難・防災機能を向上させ、良好な居住環境を整備する。</p>
浦戸地区	<p>全壊：155戸 大規模半壊：54戸 半壊：27戸 合計：236戸</p> <p>桂島：全壊49戸、大規模10戸、半壊5戸 石浜：全壊10戸、大規模9戸、半壊8戸 野々島：全壊42戸、大規模14戸、半壊2戸 寒風沢：全壊50戸、大規模15戸、半壊11戸 朴島：全壊4戸、大規模6戸、半壊1戸 世帯数（6月末）：239世帯 2月末より18世帯減少 全壊率65%</p> <p>漁業関連施設や海水浴場等の観光レジャー施設、水田等、生活基盤施設も甚大な被害を受けた。</p>	<p>今回の10m超すような津波に対し、防潮堤等での防御は困難であり、高台等への移転が必要。</p> <p>高齢化率が53%に達しており、被災者自らの住宅再建が困難な状況にある。</p> <p>近隣コミュニティを考慮した移転や医療・福祉機能を確保した、居住環境の形成が必要。</p> <p>住宅再建とあわせ、生活基盤となる漁業関連施設及び海水浴場等の観光レジャー施設の復興も必要。</p> <p>特別名勝松島としての景観等への配慮とともに、移転先の用地確保が課題。</p>	<p>漁業環境の復興にあわせた既存防潮堤機能の強化、早期復旧を図る。</p> <p>近接の高台移転等により、住みなれた地域で安全・安心した生活を送れるようにする。コミュニティ単位で移転を図り、グループホーム的な集合住宅によるコンパクトな居住地を形成する。</p> <p>医療・福祉等、生活支援機能を備えた施設を設置し、安心して住み続けられる生活環境を形成する。</p> <p>多重防御のため、堅牢な建物による防災センターや避難路等の整備を図る。</p> <p>漁港施設及びカキ処理場などの漁業関連施設の早期復旧を図る。</p> <p>県による農地海岸の復旧とあわせ、市内唯一の水田の復元を図る。</p>	<p>漁業環境の復興にあわせた既存防潮堤機能の強化や漁港周辺の冠水解消等、早期復旧を図る。</p> <p>コミュニティ単位での近接の高台移転、グループホーム的な集合住宅や医療・福祉の生活支援施設を備えた施設等、住みなれた地域で安心した生活を送れるようにする。</p> <p>生活基盤となる漁業関連施設の復興にあわせ、海水浴場等の早期復旧を図る。</p> <p>特別名勝松島の景観等に配慮した、居住環境を形成する。</p> <p>多重防御のため、避難路等、避難・防災機能を向上させる。</p> <p>特別名勝松島としての景観等の配慮をしつつ、移転後の跡地利用を図る。</p> <p>グリーンツーリズムやエコツーリズムなど島の営み自体が観光資源となるような景観形成を図る。</p>

(参考) 港町・北浜地区の復興構想(例)

	〈復興の方向性〉	〈土地利用〉	〈事業手法整理〉	〈事業化の課題〉
復興への合意形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 港町及び北浜地区の各々の地区において、地権者及び行政等関係者の、新たなまちづくりに向けた検討・合意。</li> <li>○ 港町地区は、防潮堤の復旧、道路及び宅地の嵩上げ、避難場所・避難路の確保、避難ビルの認定等による安全な市街地の整備。マリンゲート周辺で観光・文化・交流拠点の形成。</li> <li>○ 北浜地区は、北浜緑地護岸と一体となって、宅地及び道路の嵩上げによる津波対策で安全な市街地を形成し、みなとまち塩竈にふさわしい海辺景観を創出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 港町地区は、海側へ商業・文化・交流・港湾関連施設等を集約し拠点性を強化。</li> <li>○ 港町地区の南側は、地盤沈下対策・浸水対策による安全・安心な市街地として整備。</li> <li>○ 北浜地区は、北浜緑地護岸と一体となって、行き止まり道路や狭あい道路の解消により地区の防災性を向上。</li> <li>○ 北浜地区は、既存の工場等の立地を踏まえ、住工混在の解消と職住近接型の市街地を形成</li> <li>○ 土地利用の見直しにあたっては臨港地区と調整し対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地権者及び行政等関係者・関係機関の合意を踏まえ、港町地区及び北浜地区におけるまちづくりを進めるため、面的整備を含めた事業手法の活用を検討し、事業化を推進。</li> <li>○ 道路及び宅地については、嵩上げ等の地盤沈下対策・浸水対策により安全・安心な市街地として整備。</li> <li>○ 観光・文化・交流等に係る拠点形成や集合住宅整備等を見すえて、比較的規模の大きい街区形成を検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業主体と適用事業手法等の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地権者意向を踏まえた事業区域の設定</li> <li>・ 地権者及び行政等の役割分担</li> <li>・ 事業主体と事業費負担の明確化</li> <li>・ 支援事業適用可能性の検討</li> </ul> </li> <li>○ 施設需要検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商業・文化・交流等機能に係る施設需要、立地可能性の検討</li> <li>・ 集合住宅に係る需要検討、ディベロッパーの事業参画可能性検討</li> <li>・ 復興住宅確保の可能性検討</li> </ul> </li> </ul>



(参考) 浦戸地区の復興構想(例)

高台移転検討案		復興への合意形成		(参考: 高台移転検討箇所(例))	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今次津波により流出・被災した住宅を安全な高台に移転し再建する。</li> <li>○ 高台移転後の移転跡地の利活用を検討・実施する。</li> </ul>	意向確認・必要戸数確定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今次津波・地震により甚大な被害を受けた住宅の再建に係る自力再建の可否、高台移転への意向、住宅再建に伴う事業費負担、高台移転の住宅規模・内容への要望など、島民個々の意向を確認。</li> <li>○ 意向確認に基づき、高台移転の必要戸数及び住宅規模・内容を把握し、高台移転戸数を確定。</li> <li>○ 移転後の跡地に係る意向・要望を合わせて把握。</li> </ul>	<p>桂島</p>  <p>野々島</p> 	
復興イメージ	<p>コミュニティ単位で高台移転</p> 	高台移転計画及び移転跡地利用計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意向確認を踏まえて、高台移転の場所、宅地造成、住宅配置、規模、事業手法、事業費と入居者負担、事業スケジュール等から成る計画案を作成し、島民説明を行い、島民合意に基づき高台移転計画を策定。</li> <li>○ 高台移転計画策定に合わせて、島民合意に基づき、移転後の跡地利活用に係る計画の策定。</li> </ul>	<p>寒風沢</p> 	
事業推進課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今次津波により住宅流出や倒壊等の甚大な被害を受けた浦戸地区は、高台移転により安全・安心して暮らせる住宅を再建する。</li> <li>○ 高台移転にあたっては、従来のコミュニティの維持に配慮するとともに、特別名勝松島の規制に配慮する必要がある。</li> <li>○ また、浦戸地区には高齢者が多くを占めていることから、高台移転にあたっては、住宅取得や自力再建が困難な高齢者等への対応を考慮する必要がある。</li> <li>○ 高台移転と合わせて、移転跡地の用地取得、利活用等について計画立案を行い、移転と並行して跡地利用事業を実施する必要がある。</li> <li>○ 朴島については、長期的には、コミュニティ単位での生活が維持できるよう、高台移転検討箇所への移転を含め検討を進める必要がある。</li> </ul>	復興住宅建設・高台移転	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高台移転計画に基づき、災害公営住宅整備事業や防災集団移転促進事業等の支援策の活用を踏まえて、復興住宅を建設。その際、特別名勝松島に係る規制へ対応。</li> <li>○ 復興住宅の建設に伴い順次入居を実施。</li> <li>○ 高台地域と漁港を結ぶ避難路として位置づけられる生活道路を整備。</li> </ul>	<p>朴島</p> <p>長期的なコミュニティ維持に関し検討</p>	
		移転跡地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高台地域への移転進捗に合わせて、移転跡地利用計画に基づき、移転跡地の地盤沈下対策・排水不良対策等による基盤整備、各島の産業振興に資する土地利用を推進。</li> </ul>		